世界の情勢（ヨーロッパ）II

科目ナンバリング　ARS-104
【Ⅳ】　選択　2単位

佐藤　嘉寿子

1. 授業の概要（ねらい）

ヨーロッパの国々は多種多様な歴史を経て今日に至っています。イギリス、フランス、ドイツ等、西ヨーロッパの国々は日本にとって身近に感じられているかもしれませんが、社会主義国家としての時代を経て、体制移行を経験した東ヨーロッパの国々は必ずしもそうではありません。本講義では、EU（欧州連合）に加盟している東ヨーロッパの国々の歴史や今日に至るまでの経緯を説明することによって、これらの国々に対する関心や理解を深めます。

2. 授業の到達目標

・東ヨーロッパの国名や位置と共に、基本的知識を修得する。
・東ヨーロッパ諸国の社会主義時代、体制移行及びEUとの関係を理解する。
・東ヨーロッパに関する新聞記事やニュースの内容を理解できる。

3. 成績評価の方法および基準

・授業内容に関する課題60%、期末レポート40%として、総合的に評価します。
・課題やレポートは、すべてLMS上での提出になります。

4. 教科書・参考文献

教科書

テキストは使用せず、必要に応じて資料を配布します。参考文献等は、授業の中でも随時紹介します。

参考文献

吉井昌彦・溝端佐登史編　『現代ロシア経済論』　ミネルヴァ書房　2011年
田中・長部・久保・岩田著　『現代ヨーロッパ経済』（第5版）　有斐閣アルマ　2018年
政治・経済教育研究会編　『政治・経済用語集』　山川出版社　2019年

5. 準備学修の内容

準備学習は以下の通りです。授業は各自の予習を前提に進めます。

・事前にLMS上にレジュメ を公開します。
・予習としてレジュメ に目を通し、わからない用語等について調べておいてください。
・参考文献を読み、授業内容を確実に理解してください。
・授業中に紹介する本や資料を読み込んでください。
・授業内容であるEUに関する新聞や雑誌の記事、テレビ等のニュースに目を通すように心がけてください。

6. その他履修上の注意事項

・毎回の出席は必須です。授業は原則講義形態で行います。
・LMSの連絡事項、公開されたレジュメ や資料を必ず確認してください。
・レジュメ は未完成の状態で公開します。授業中に完成させてください。レジュメの完成版の配布はありません。
・レジュメ（未完成版） や資料の一部は授業前に配布します。
・授業の妨げにならないよう、授業中の私語は慎んでください。
・国際情勢の動向により、授業内容を変更することがあります。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス、授業の進め方、講義内容の紹介
【第2回】　東西冷戦の終焉
【第3回】　戦後の東ヨーロッパ
【第4回】　東ヨーロッパの戦後における経済体制確立のプロセス
【第5回】　東ヨーロッパの経済体制の問題点
【第6回】　東ヨーロッパの体制崩壊
【第7回】　東ヨーロッパの経済体制移行
【第8回】　東ヨーロッパの経済体制移行の問題点
【第9回】　EU加盟に向かう東ヨーロッパ諸国
【第10回】　東ヨーロッパとEU：移行後のハンガリー
【第11回】　東ヨーロッパとEU：移行後のポーランド
【第12回】　東ヨーロッパとEU：移行後のチェコ
【第13回】　EU加盟後の東ヨーロッパの現状
【第14回】　EU加盟後の東ヨーロッパが直面する諸問題
【第15回】　秋学期のまとめ（オンライン授業）